

総合評価

受診施設名	社会福祉法人 みのり福祉 社会 みのり保育園	施設 種別	保育園 (旧体系 :)
評価機関名	社団法人 京都社会福祉士会		

平成23年3月10日

総 評	<p>3年前の初回受診結果を出発点に、7つの委員会で精力的に質の向上に取り組んでこられたことが十分に伝わってきました。園長・主任の的確なリーダーシップと先生全員の頑張りの積み重ねでここまで来たということ、そのことがアンケートやヒヤリング等での職員の声においても表明されており、この間の取り組みが職員の意識の統一にもつながっていると思います。</p> <p>園児の表情が良いのも印象的でした。先生の様々な取り組みにも感銘を受けました。</p> <p>現在は地域の保育ニーズへの更なる対応を計画しておられ、地域での園の役割がますます重要となってくると考えられます。</p> <p>今後は、この間の取り組みを基礎に、中長期計画の年次ごとの具体化への落とし込みや法人全体の組織力強化、職員の処遇改善等にも一層取り組まれることを期待します。</p>
特に良かった点(※)	<p>I-1(2) 保育の理念・基本方針・目標の周知 保育の理念・基本方針・目標をはじめ、保育の具体的内容や利用する保護者にとって大切な情報を分かりやすく説明した「保育園のしおり」が非常に充実しており、入園から卒園までの間中、保護者が活用できる仕組みが確立しています。</p> <p>II-2(3) 職員の質の向上に向けた体制 年間研修計画には職員個別の研修目標が設定され、人事考課の中でフィードバックされています。また、研修報告書には必ず園長のコメントが記載され、全体への報告回覧の他に、個人別に研修報告書がファイリングされており、個人別の研修履歴の振り返りや評価につながっています。</p> <p>さらに個人別のファイルは退職時に本人に渡されるとのことで、資質向上の記録が退職後も生かされる仕組みとなっています。</p> <p>II-3(1) 地域との関係の適切な確保 地域から畑を借り受け、その指導や支援を地区老人会から得ているなど、地域の高齢者とのふれあいが充実しています。</p> <p>また、中学校区内の「心の教育実践発表」にも園として参加</p>

	<p>され、その他、育児相談やその広報、園庭開放にも積極的に取り組んでおられ、小さい子供が少ない家庭や母子父子家庭の子供や保護者のふれあいの機会となっています。</p> <p>Ⅲ－２（２）③ 利用者の状況等に関する情報の職員間での共有化</p> <p>ヒヤリハット記録シートの掲示は、最後から２番目に見た職員が赤線を引くルールとするなど、全職員が迅速に共有できるように工夫されており、また、どの水準になれば共有するかという点でも明確になっています。</p> <p>その他、苦情とまではいかないことも、「小さな苦情」という言葉を使うことで意見を抵抗なく表明し、また受け止めやすい工夫がされています。それらへの回答も含め掲示板に全て張り出し、全員が周知できるようにしています。</p>
<p>特に改善が望まれる点(※)</p>	<p>Ⅲ－３（１）② 保育開始時の利用者等への説明と同意</p> <p>保育サービスや料金等の説明は「保育園のしおり」等の書面で行われていますが、料金についての同意を確認する書面は作成されていませんでした。料金に関する説明書面の一部に同意署名欄を設けるなど、工夫をされてはいかがでしょうか。</p>

※それぞれ内容を３点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

受診施設名	社会福祉法人 みのり福祉会 みのり保育園
施設種別	保育所
評価機関名	社団法人 京都社会福祉士会
訪問調査日	平成23年1月12日

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・ 基本方針・目 標	I-1-1 (1) 保育の理念、基本方針・目標が確立 されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-1 (2) 保育の理念、基本方針・目標が周知 されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-1 (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確 にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	A	A
	I-2-1 (2) 保育の計画が適切に策定されてい る。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている。	A	A
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	A	A
		⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	A	A
I-3 管理者の責任 とリーダー シップ	I-3-1 (1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-1 (2) 管理者のリーダーシップが発揮され ている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

【自由記述欄】

I-1 保育の理念・基本方針・目標をはじめ、園が実施する保育の内容や、利用する保護者にとって大切な情報がわかりやすく説明された「保育園のしおり」が充実しており、入園から卒園までの間、保護者が活用できる仕組みが確立しています。

I-2 (1) 中長期計画が策定され、毎年、事業活動の進展とともに総括・見直しがされています。この計画は、各年次計画への具体化や数値目標の設定などを工夫されることで、さらに全職員が活用していくことが期待されます。

I-2 (2) 保育計画・保育課程等の見直しが保育管理委員会で定期的に行われることを資料で確認しました。

I-3 総務、広報、給食、車両、防火防災、保育管理、健康安全の7つの委員会、保育全般について分担して検討されており、管理者自ら積極的に参画しておられます。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A	
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A	
		① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A	
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A	
		II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
			② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	A
	③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A		
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A		
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A		
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A	
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A	
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A	
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A	

【自由記述欄】

II-1(1) ① 中長期計画は5年計画で、かつ毎年見直されています。

II-2(1) ① 中長期計画に人材確保育成の取り組みが明示されています。平成19年度以降、退職者がほとんどありません。

II-2(2) 産休や育児に関する勤務上の配慮がされています。有休消取得率には個人差があり、総体的にも高いとは言えません。

II-2(3) ① 年間研修計画には個別の研修目標が設定されており、人事考課の中でフィードバックされています。

II-2(3) ③ 研修報告書には必ず園長のコメントが記載され、全体への報告回覧の他に、個人別に研修報告書がファイリングされており、それを他の職員も見ることができます。そうすることにより個人別の研修履歴の振り返りや評価につながっています。さらに個人別のファイルは退職時に本人に渡されるということです。

II-2(4) 実習生向けの文書で確認できました。

II-3(1) 地域から畑を借り受け、その指導や支援を地区老人会から得ているなど、地域の高齢者とのふれあいは充実したものとなっています。中学校区内の「心の教育実践発表」にも園として参加する他、育児相談やその広報、園庭開放にも積極的に取り組んでおられ、小さい子供が少ない家庭や、母子父子家庭の子供や保護者のふれあいの機会となっています。また、ボランティア向けの説明文書も確認できました。

II-3(2) 緊急連絡網図の掲示を確認しました。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-1 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
		① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-1 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	A	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	A	A
	Ⅲ-2-2 サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-1 サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			A	B
Ⅲ-3-2 サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	A	A
[自由記述欄]				
Ⅲ-1(1) 個人情報の記載されているファイルには赤いシールが張られ、他のファイルと識別できるように工夫しておられます。				
Ⅲ-1(2) 苦情とまではいかないことも、「小さな苦情」という言葉で意見を抵抗なく言いやすく受け止めやすい工夫がされています。さらに、それらへの回答も含め掲示板に全て張り出し、全員が周知できるようにしています。				
Ⅲ-2(1) 平成19年度の第三者評価受診を出発点に、改善すべき項目を各委員会を毎月開催し質の改善に取り組んでこられ、職員の意識統一にもつながっています。今回の受診に向けての自己評価も、5名の担当で1ヵ月半をかけて取り組んだとのことでした。				
Ⅲ-2(2)③ ヒヤリハット記録シートの掲示も、最後から2番目に見た職員が赤線を引くルールとするなど、全職員が迅速に共有できるように工夫されています。				
Ⅲ-3(1)① インターネットのホームページはありませんが、地域の各所に園だよりを掲示してもらうなど、積極的な情報提供を行っておられます。				
Ⅲ-3(1)② 保育サービスや料金等の説明は書面で行われていますが、料金の同意を確認する書面は作成されていませんでした。				
Ⅲ-3(2)① 卒園児には、保護者宛に暑中見舞いを出して、保育相談の呼びかけを行っておられます。				

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかがわかれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる		非該当

【自由記述欄】

IV-1(1)① 「保育園のしおり」にて健康管理などの具体的な記載を認めました。

IV-1(1)② 健康診断を年度当初に行っており、手洗いもその健康管理にまで及んでいるとのことでした。

IV-1(1)③ 歯科検診も年度当初に行っている他に、6月には虫歯予防デーに集会を開催していました。また、昼食後には職員も一緒になり歯磨きを行っていました。

IV-1(1)④ 感染症に関する各種登園基準を設けており、それらを「保育のしおり」にて確認できました。

IV-1(1)⑤ 調理室を見やすく設けられており、園児が笑顔で食せる雰囲気が感じられました。

IV-1(1)⑥ 給食日誌を確認し、残食量などの記載を認めました。

IV-1(1)⑦ 降園時には、食事のサンプリングを掲示していました。希望や要望があればレシピ等を配布しているとのことでした。

IV-1(1)⑧ 京都府医師会地域医療課が発行しているアレルギー食・除去食の指示書様式を利用しています。それを遵守している他、中にはアレルギーが改善される園児がいるとのことでした。

IV-1(2)① 温度計などの設置が確認できました。また、遊具に関しては、毎月1回の点検を欠かさず行っていることを園舎・屋外チェックシートで確認できました。

- IV-1 (2) ② 各教室や随所に季節感を感じる掲示物が見られました。
- IV-1 (3) ① 職員の園児に対する話し方は、終始おだやかで受容的雰囲気を感じられました。
- IV-1 (3) ② 排泄感覚を的確に捉え、リズムを把握している様子でした。
- IV-1 (3) ③ 他のクラスの交流も多く、おもちゃもそれぞれのステージに異なる物がおいてありました。
- IV-1 (3) ④ 年長児は、電車を使って遠方までお泊り保育をしているとのことでした。
- IV-1 (3) ⑤ 音楽に親しむという意も含めた上で、リトミックスなどをプログラムを取り入れておられます。
- IV-1 (3) ⑥ 異年齢交流を毎週月曜日に行っていることを保育計画にて確認できました。
- IV-1 (3) ⑦ 英会話を実施しておられ、外国人教師であることから、アメリカ文化を伝えるなどの配慮が見られました。
- IV-1 (3) ⑧ 言葉に対しては、十分配慮が見られました。また、男女別にしていないということを出席簿にて確認できました。
- IV-1 (3) ⑨ 保育内容や方法は、「保育園のしおり」にて確認できました。特に、SIDSの周知が明瞭であると思いました。
- IV-1 (3) ⑩ 長時間保育では、異年齢交流が盛んに行われているとのことでした。
- IV-1 (3) ⑪ 障害児保育は、態勢は整えているが対象児がおらず実施していないため、「非該当」としました。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている		非該当

【自由記述欄】

- IV-2 (1) ① 保護者相談面談票にて個別面談を行っていることが確認できました。また、個別面談は、2人対応にて実施しているとのことでした。
- IV-2 (1) ② 連絡帳を円滑に有効的に利用していることを確認できました。
- IV-2 (1) ③ 参観時、両親も給食を摂っており自然発生的に座談会になっているとのことでした。
- IV-2 (1) ④ マニュアルは2つ用意されており、園独自のものも用意されています。
- IV-2 (1) ⑤ 外部からの通告も対応しておられます。
- IV-2 (1) ⑥ 小学校からの入学前相談を随時受けておられます。
- IV-2 (2) ① 一時保育は行っていないとのこと、「非該当」としました。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A

【自由記述欄】

- IV-3 (1) ① マニュアルの見直しは年1回行っています。
- IV-3 (1) ② 食中毒マニュアルを確認できました。
- IV-3 (1) ③ ドアの指詰めを防止するための工夫をされています。
- IV-3 (1) ④ 月に一度、バージョンの異なる避難訓練を実施しているとのことでした。
- IV-3 (1) ⑤ 月に一度、不審者侵入の訓練を実施していることを避難訓練実施書にて確認できました。